

市民活動状況  
(10月末日現在)

市内NPO法人数	32 団体
当センター登録団体数	150 団体
当センター登録会員数	6,466人
来館者数	838人
印刷機利用枚数	7,446枚

# ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や  
大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。  
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日  
〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL <https://ryugasaki-shiminkatsudo.net>



## 市民団体活動紹介シリーズ No.14「道徳信息拳・操 同好会」

目指せ！市民活動日本一

「道徳信息拳・操(どうとくしんそくけん・そう)」は道徳経を基に老子研究家 中国 趙妙果老師が  
草案されたそれを伝授された押手信子先生が、つくば市、阿見町、神立、龍ヶ崎市内(三ヶ所)で  
約20年にわたり熱心に普及活動を行って来ます。



- 拳** 九つの動作は血液の循環を促進し質を高めます  
円形を保持し身体の重心はどちらかの片方に…  
柔らかさの中に強さが交互にされるよう
- 操** 三つの動作は手軽で穏やかで静かに集中して…  
私たちの心の慈養となります  
簡単効率的、実用的 便利で果てしなく奥深いです。



- 龍ヶ崎市内(三ヶ所)の教室は
- 長戸コミュニティーセンター 第2・4火曜日 10時～12時
  - 直鮎集会所 第1・3火曜日 10時～12時
  - 龍ヶ崎コミュニティーセンター 第1・3火曜日 13時～15時

どなたでも気楽にとりこめる緩やかな体操です  
見学 ご参加をお待ちしています。  
お気軽にお出かけを！ 歓迎します



## 助成金情報



助成 団体名	内容・締切・URL
日本社会福祉弘済会	社会福祉関係者の専門性向上などを目的とした「研修」や「調査・実践研究」事業(締切)12月15日 <a href="https://www.nisshasai.jp/">https://www.nisshasai.jp/</a>
ハウジングアンドコミュニティ財団	住まいとコミュニティづくり活動助成(締切)1月10日(必着) <a href="http://www.hc-zaidan.or.jp/">http://www.hc-zaidan.or.jp/</a>
いばらき文化振興財団	茨城県内各地における文化活動支援(締切)1月20日(必着) <a href="https://icf4717.or.jp/">https://icf4717.or.jp/</a>

## 「アパートを活用した高齢者住宅事業とトレーラーハウスによるコミュニティ・ビレッジづくり」報告

### ○アパートを活用した高齢者住宅事業 講師:西村 晴海氏

高齢者になって一人でもお互いに支え合う状況を作りたいとの思いから、所有するアパート3棟を使って、住宅型有料老人ホーム「にれの家」を始めた。当初、アパートに居住している方々に説明して退居してもらうのが大変だった。増改築を行い現在、21人定員である。医療福祉生協いばらきの福祉施設事業として運営しているが、21部屋が満室にならないと赤字になる状況である。週1回診療所から医師と看護師が訪問しケアしている。ちょっとしたでも人の役に立ちたいと考え事業を思い立ったが、このような小規模な老人ホームはどうしても赤字になってしまうので、アパートからの転用はお勧めしません。

### ○トレーラーハウスによるコミュニティ・ビレッジづくり 講師:須藤<sup>せつこ</sup> 攝子氏

シックスハウス症候群で過敏症になっている講師が一人でも豊かに暮らすにはどうしたらいいかと考えて、所有している2台のトレーラーハウスを活用して国産のスギとヒノキで出来たトレーラーハウスを森の中に設置してタイニーハウス(家箱)として居住している。

そこでは、家具を作り付けにして6m×2.4mの居住空間にはバス・トイレ、シンク、コンロの付いたキッチン、作り付けのベット、洗濯機、冷蔵庫などが備わっている。お互いに助け合う暮らしが出来ている。ここに住んでから、過敏症は発症せずに快適に暮らしている。全国から何人も問い合わせが来ている。

課題としては、茨城県ではトレーラーハウスは車両扱いなので調整区域で2年しか設置が認められていないので、2年立ったら移動しなければならない。つくば市、土浦市では2年以上の設置を認めているので、移転先を探しているところである。アメリカではトレーラーハウスの専用サイトがあり、設備配管をつなぐだけで住めるが、日本にはまだ、存在していない。



## 龍ヶ崎ヒストリー第12回「吟月堂の浮草と大徳町」

龍ヶ崎市街地の東の端に吟月堂という菓子店がありました。近年閉店になりましたが、このお店で製造販売されていた浮草という和菓子の味が忘れられません。固められたこし餡を黄褐色の皮で包んだ焼饅頭です。1日20個ほど細々と作られていたので、夕方買い求めるといつも品切れ状態。知る人ぞ知る龍ヶ崎の銘菓でした。

以前、JR東日本主催「駅からハイキング」佐貫駅～龍ヶ崎市街地コースが開催されていた頃、この企画に併せた旧小野瀬邸イベントでお茶会が開かれていました。お茶に浮草を添えたところ「これとっても美味しいね」と、遠方のお客様から大絶賛されるほどでした。

実は浮草は吟月堂固有の和菓子ではなく、かつては他の和菓子店でも製造販売されていた龍ヶ崎名物だったようですが、平成まで続いたのが吟月堂1軒だけだったのです。気が付いた時にはその吟月堂も閉店になっていました。浮草の消滅は龍ヶ崎の和菓子文化にとって大きな痛手と考えます。

さて、旧吟月堂は砂町商店街の一番外れに位置し、今も看板は掛かっています。その先に砂町というバス停があり、町名は当然砂町と思っていたら、実は住所表記は大徳町となっています。大徳町は今でこそ龍ヶ崎市ですが、昭和29年までは稲敷郡大宮村大字大徳になります。

かつて僅かな集落だけだった龍ヶ崎に接する大徳村は、米町から砂町まで続く龍ヶ崎商店街の賑わいの延長線上に当たり、行政上の線引きとは関係なく龍ヶ崎の市街地と一体となって、まちづくりが行われたと考えます。生活圈を共有する大徳を有する大宮村は、昭和の大合併で必然的に龍ヶ崎市になったといえます。



龍ヶ崎短歌会

秋の陽は狐のよぎる速さにて金色の尾が翔ぶ西空の果て

渡辺南央子

イベントの最後盛り上げ振付を真似つつ踊る 龍ヶ崎錦

石渡静夫